

# あいち農産物生産流通レポート

平成26年6月号

情報サロン		
・花色の変化が楽しめるカーネーションの新品種「カーネ愛知7号」 を開発 (農業総合試験場)	.....	1
地域トピックス		
・コシヒカリ愛知SBLの献穀に向けてお田植まつり開催 (東三河農林水産事務所)	.....	2
東日本情報		
・東京都中央卸売市場における輸入農産物の動向 (東京事務所)	.....	3
西日本情報		
・平成25年の地方卸売市場における青果物・花きの流通について (食育推進課)	.....	5
フラワーページ		
・花き生産日本一の「花の王国あいち」が取り組む「花いっぱい県民 運動について (園芸農産課)	.....	7
青果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	.....	9
・名古屋・東京市場における青果物の6月の見通し	.....	10
花き		
・切花・鉢花の6月の見通し(県内市場)	.....	22
輸出入		
・主要農林水産物の輸出入実績(2014年3月)	.....	26
関連指数	.....	27

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6421

## 花色の変化が楽しめるカーネーションの新品種「カーネ愛知7号」を開発

農業総合試験場

### 1 はじめに

愛知県は出荷数量 5,490 万本、生産額 18 億円を誇る全国第 2 位（平成 23 年実績、農林水産省発表）のカーネーション生産県です。カジュアルフラワーとして人気の高いカーネーションですが、近年、産地を取り巻く状況は厳しく、生産者からは栽培しやすく商品性の高い県オリジナルの新品種開発が望まれてきました。

このため、農業総合試験場ではこれまでに 6 つのスプレータイプのカーネーション品種を開発してきましたが、この度、7 つ目の新品種となる「カーネ愛知 7 号」を開発しましたので、その経過と特徴などについてご紹介します。

### 2 育成経過

「カーネ愛知 7 号」の開発は、平成 19 年に交配により約 5,000 粒の種子を得ることからスタートしました。その中から切り花の品質や収量性などが優れる個体を選抜し、平成 22 年からは愛知県花き温室園芸組合連合会カーネーション部会の協力を得て、現地での試作や市場性の評価を繰り返し行うなど、約 6 年間をかけて育成し、平成 25 年 11 月 6 日に品種登録申請を行いました。

### 3 「カーネ愛知7号」の特徴

「カーネ愛知 7 号」のもっとも大きな特徴は、鑑賞期間中に変化する花色にあります。緑黄色にピンク色が混じった“ピンクベージュ”が本品種の基本となる色ですが、当初はピンクの色合いが強く、鑑賞を続けるにつれて外側の花弁からピンク色が徐々に薄れてベージュ色に変わり、緑黄色にまで変化します。

#### 【その他の特徴】

- ・花は大きめで輪数がやや多く、茎がしっかりと折れにくいので、花束としてだけでなくアレンジメント用途にも向きます。
- ・1 株から収穫できる本数は年間約 5 本と平均的ですが、秀品率がやや高いのが特長です。
- ・本県の一般的な栽培では開花開始時期は 11 月中下旬で、翌年 6 月まで出荷されます。



### 4 おわりに

現在、「カーネ愛知 7 号」は西尾市を中心に栽培が始まっており、『ドリーミーワンダー』の名称で試験的に出荷が行われています。落ち着いた色のあるベージュ系の品種はブライダル等での需要が見込まれるほか、実需者や消費者に、花色が変わるといった面白い特徴をうまく PR することで、生産と消費の拡大が今後期待されます。

## コシヒカリ愛知SBLの献穀に向けてお田植まつり開催

平成26年5月12日（大安）ひまわり農業協同組合主催により、第122回愛知県農業祭献穀事業お田植祭式が豊川市東上町の水田で開催された。同農協での開催は13年ぶり。関係者を参集した準備会議は4回開催され、農政課は留意事項の確認等、農業改良普及課は施肥設計、苗づくり等で協力してきた。農協はさらに準備を重ね、地鎮祭、播種祭を経て、中心行事「お田植まつり」を地域色豊かな充実した行事へとまとめ上げた。



ひまわり農協をPR

先ずは、砥鹿神社の神職4名による神事が厳かに斎行された。献穀者「柴田 勝」氏が壇上から斎田を耕した後、献穀者、JAひまわり常務理事、早乙女代表3名の計5名が壇上より早苗を植え付け、五穀豊穡を願った。



地元園児が歌と演技を披露

続いて、神事とは切り離された「お田植まつり」が開催され、地元の保育園児25名による「おこめ隊」が、「お米大好き！」「農家のみなさん、育ててくれてありがとう！」と歌や踊りを披露してまつりを盛り上げた。会場には、ゆるキャラ「まりくん」や「いなりん」も応援に駆けつけ、和やかな雰囲気醸成した。

豊川市長はじめ来賓7名が壇上より早苗を植え付けた後、花笠に紅のたすき姿の早乙女13名が一行に並んで斎田に入り、太鼓の合図に合わせながら、早苗を高らかに掲げた後に左、中、右へと植え付ける動作を5回繰り返し、豊作を祈願した。



早乙女によるお田植

愛知県知事代理として出席した農林水産部長は、「お田植した早苗は、本県農業総合試験場が育成した『コシヒカリ愛知SBL』であり、とてもおいしく、病気にも強いことから、低農薬で安全安心な米づくりができる。豊川市では『稲荷の里』の銘柄で販売されており、地域に親しまれている地産地消の米である。秋には黄金色に輝く稲穂を稔らせ、晴れて宮中に献穀されることを願う。」と知事の祝辞を代読した。



献穀者 柴田勝 氏

献穀者は、「1週間前の天気予報が外れて好天となりうれしい。9月5日の刈穂祭に向けて安全安心な米を豊かに稔らせ、10月下旬には受け継がれてきた伝統行事を絶やすこと無く、皇居へ無事献上できますよう、精一杯努力していくことをお伝えしたい。」と挨拶を述べた。また、「本日は、私の70歳の誕生日でもある。御縁があり感謝している。」とも添え、親しみを込めた。



## 東京都中央卸売市場における輸入農産物の動向

平成26年4月15日（火）に開催された京浜市場愛知県野菜連絡会<sup>注1</sup>キャベツ部会（会長：東京シティ青果(株)藤澤啓氏）の研究会において、加工業務向けの輸入キャベツが話題にあがったことから、今回、東京都中央卸売市場における輸入農産物の動向を調査した。

### 1 輸入キャベツの入荷状況

平成25年は、キャベツの総入荷量182,996 t に対して輸入は158 t、うち中国が137 t と輸入の87%を占めていた。

輸入キャベツの入荷量は中国が最も多かったが、その割合は0.1%であった。年内から春にかけて直近2か年の状況を図1に示した。

24年（H24.11～25.4）は2、3月中心の入荷だったのに対し、25年（H25.11～26.4）は12、1月中心の入荷であり、前年より早めとなった。そして入荷量は154 t（前年同期比160%）に増加した。

これは、25年9、10月の台風の影響で年内から1月の入荷量が前年より少なくなることを考慮した外食産業が早めに輸入に踏み切ったことが一つの要因になったと考えられた。ちなみに25年12月、26年1月の愛知県産の入荷量は、それぞれ6,155 t（対前年比81%）、6,700 t（73%）と2～3割程度減少した。

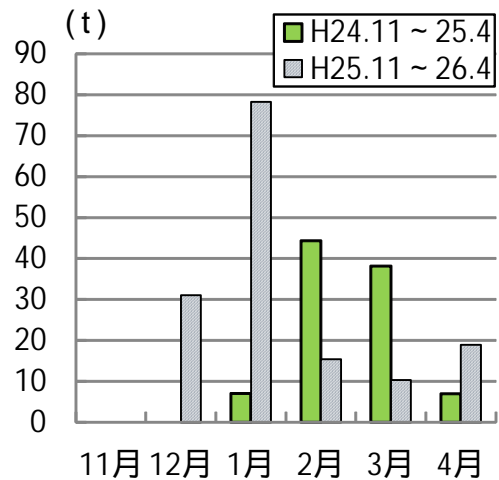


図1 中国からの入荷状況

### 2 野菜全般の輸入状況

平成25年の野菜の総入荷量は1,571千 t で輸入は48千 t だった。その内訳を表1に示した。野菜の中で最も多いのは果菜類、次いで葉茎菜類、根菜類であり、輸入に関しては果菜類、次いで土物類、葉茎菜類の順であった。また輸入割合の高いのは、香辛つま物類が14%、次いで野菜加工品、果菜類であった。

果菜類の主なものは、かぼちゃ（メキシコ、ニュージーランド（以下NZ）ほか）とパプリカ（韓国ほか）で、土物類は、玉ねぎ（中国、米国ほか）とさといも（中国）、葉茎菜類は、ブロッコリー（米国、中国ほか）とア

内訳	総入荷量	うち輸入
根菜類	264,219	3,053
キャベツ類	183,690	158
レタス類	97,020	247
葉茎菜類	298,359	9,741
果菜類	317,106	19,215
豆科野菜類	15,935	936
ばれいしょ類	99,678	0
土物類	199,757	9,909
香辛つまもの類	14,277	2,007
きのこ山菜類	43,197	874
その他野菜	8,725	18
野菜加工品	29,046	2,294

スパラガス（メキシコ、オーストラリアほか）であった。

### 3 野菜全般で入荷量の多い国

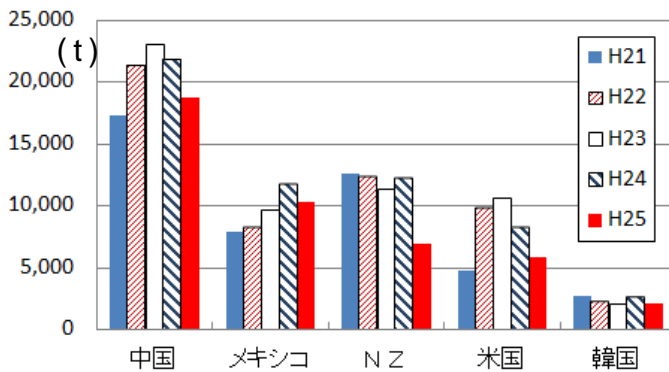


図2 入荷量の多い5か国

入荷量の多い5か国の過去5か年の状況を図2に示した。25年で見ると、中国からの輸入量が最も多く、次いでメキシコ、NZ、米国、韓国であった。25年は5か国すべて入荷量が減少していた。

25年に年間1,000tを超えた品目は、中国ではたまねぎ（4,698t）、野菜加工品（2,237t）、ねぎ（2,346t）、ニンニク（2,091t）、ニン

ジン（1,844t）、根ショウガ（1,819t）の6つあった。その他の国では、メキシコではかぼちゃ（9,310t）、NZではかぼちゃ（5,611t）、米国ではブロッコリー（2,634t）、玉ねぎ（1,323t）、韓国ではパプリカ（2,032t）であった。中国は6品目以外にもブロッコリーやニンニクの芽、さといも、たけのこ等多品目を東京都に輸出しているが、ほかの国は少品目に集中していた。例えばメキシコは、かぼちゃとアスパラガス、米国はブロッコリーとたまねぎ、セルリー、アスパラガス、トマトといったようである。

また、この5か国は25年の販売金額が10億円を超えていた。

### 4 今回の調査結果から

輸入キャベツに関しては、入荷量自体は0.1%と少なかった。ただ12月は前年に輸入がなかったこと、1月は前年対比1,113%とかなり多く輸入されていたことを頭に入れておいたほうがよいと思われた。25年のような台風対策として販売業者（消費地）が輸入に走る場面は今後も続くことが予想され、産地は市場関係者や消費地と販売結果や商談等より深く意思疎通を図ることが大切だと感じた。

野菜全般の輸入状況に関しては、総入荷量の3.1%であった。品目としては、かぼちゃや玉ねぎ、ブロッコリー、パプリカ、ニンジンなどが多く、特に中国からの輸入量は25年が18,701t、金額で44億円とダントツの実績であった。中国からの輸入実績は23年をピークにここ2年減少しており、今後も注視していきたい。



H26.4.15 キャベツ部会研究会の様子

（窓側中央に藤澤部会長）

注1) 京浜市場愛知県野菜連絡会：主要な野菜について生産流通消費動向等を調査して愛知県の野菜産地と京浜地域青果物卸売市場の健全な発展と野菜流通の円滑化及び合理化を目的として活動している。現会員会社は32社。

## 平成25年の地方卸売市場における青果物・花きの流通について

### 1 県内地方卸売市場の平成25年(1~12月)の取扱状況

#### 青果物の取扱状況及び生育状況

##### 単価と取扱量

1月以降、雪や低温の影響もあり、入荷量が少なく、単価高が続いたが、3月ぐらいからは天候も回復したため、入荷量も増え単価は安値傾向となった。

4月から6月にかけては、寒暖の差が大きく、入荷量が安定しなかった。

7月以降は、高温、干ばつ、大雨等、ここ数年にないほどの天候不順により、入荷量が大幅に減少した結果、単価は大幅な高値で推移した。

9月以降も高温の影響が引き続いたとともに、台風の影響もあり入荷量は少なく、高単価で推移した。

年間を通じて、ほぼ入荷減、単価高の傾向が続いた。

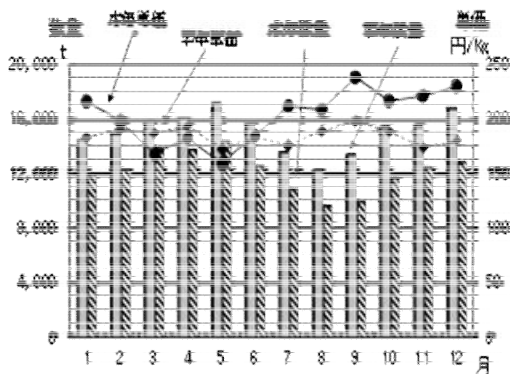
##### 生育・産地状況

年明け以降、残雪、低温の影響により露地野菜を中心に生育が遅れ、出荷物は小玉傾向が続いた。春先からは気温の上昇により生育が回復するも、6月にかけて天候不順により野菜全般の生育が遅れた。

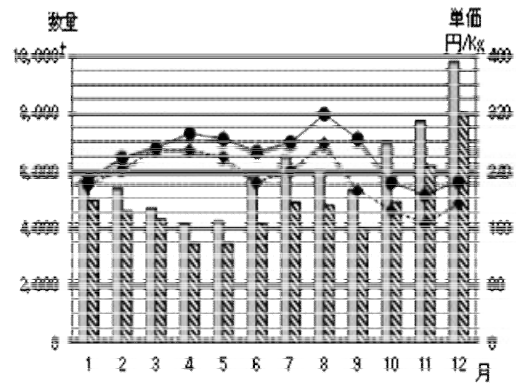
7月中旬に梅雨明けし、順調な生育が見込まれたが、関東地方を中心に大雨の影響もあり、一部の野菜、果実は十分な収穫ができなかった。

9月以降は台風の影響を受け、生育遅れや入荷の遅れ、品質の低下がみられた。10月中旬からは気温の高い日が続き、生育が回復した。11月は好天と適度な降雨が全体的に順調な生育となったが、12月は低温、干ばつの影響で露地の葉菜類を中心に生育が遅れた。

#### 【野菜】



#### 【果実】



(2) 花きの取扱状況

単価と取扱量

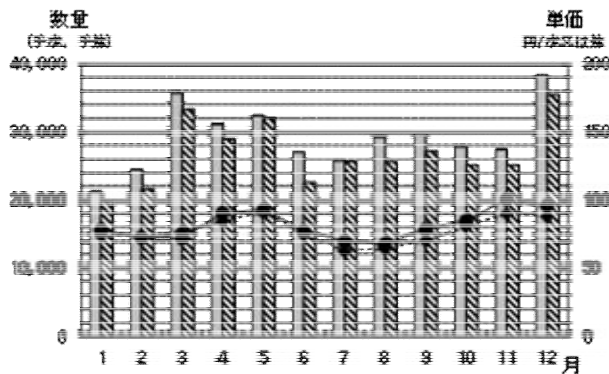
1月から2月は入荷量は減少したものの、3月の需要期には回復した。  
 4月から6月にかけては、寒暖の差が大きく、雨の影響もあり入荷量は安定しなかった。  
 7月以降は記録的な猛暑と大雨の影響を受け、露地物を中心として入荷量が減少したが、  
 10月以降は天候も安定したため、入荷量は回復傾向となった。  
 単価は、年間を通じ入荷量も少なく単価高の状況が続いた。

生育・産地状況

露地物を中心とした花きは、天候の影響を受けやすい。平成25年は、天候不順が続いたため、順調な生育とならず、入荷量にも影響を及ぼした。

また、昨今からの重油価格の高騰、需要の減少もあり、生産自体が減少しており、今後も同様の減少が続けば、花き全体の入荷量、単価にも影響することが懸念される。

【花き】



2 県内地方卸売市場における取扱実績  
 平成25年(1~12月)の取扱実績

品目	年次 (対比)	取扱数量 (トン、千本、千鉢)	取扱金額 (百万円)	単価 (円/kg、円/本又は鉢)
青果	平年(20~24)	252,157	51,218	203
	24	228,705	48,404	211
	25	203,919	45,816	224
	前年比	89.1%	94.6%	106.2%
	平年比	80.8%	89.4%	110.3%
花き	平年(20~24)	343,323	26,882	78
	24	342,012	27,463	80
	25	338,391	26,766	79
	前年比	98.9%	97.4%	98.7%
	平年比	98.5%	99.5%	101.2%



花き生産日本一の「花の王国あいち」が取り組む  
「花いっぱい県民運動」について

1 はじめに

愛知県の花き産出額は、昭和37年以降51年連続で全国1位であるが、その額は景気の低迷や燃油・資材の高騰により平成20年頃から急激に減少しています。

また、総務省家計調査における県庁所在地別の1世帯あたりの切り花消費金額は全国20位(2013年)にとどまり、無購買層や低購買層の花への関心を高め、県内の需要を拡大する必要性が高まっています。

そこで、本県では、平成25年4月に、花き生産者団体、花き市場関係団体、花き小売関係団体、花き消費関係団体、商工関係団体で「花の王国あいち県民運動実行委員会」を立ち上げ、「花の王国あいち」のPRや花のある生活空間の提案など、暮らしの中に花を取り入れる「花いっぱい県民運動」を展開しています。

2 平成25年度の事業結果について

(1) 花の王国あいちPR促進運動

あいちの花を広く県民にPRするため、月替わりで「今月のあいちの花」を設定し、月の初めの愛知県知事の定例記者会見場に飾って紹介するとともに、県庁舎内でも展示を行いました。また、テレビ番組内で紹介してもらったり、構成員の協力により、県内主要施設(セントレア、オアシス21、豊橋駅コンコース、名鉄金山駅構内)で装飾展示を行いました。

また、本県と一緒にあって花きの需要拡大に取り組んでいただく企業や団体等の募集を行い、「花の王国あいちサポート企業」として5企業・団体を認定しました。



主要施設における今月のあいちの花  
の展示(平成26年3月 オアシス21)



企業や団体等の花壇の装飾

(花の王国あいちサポート企業 吉田組)

(2) あいち花育推進事業

花の専門的知識や装飾技術を有し、学校や施設等でその普及指導ができる人を「花育ティーチャー」として登録し(3団体及び13個人)、花育教室の開催等の協力をしていただきました。

また、小学校での花育教室の開催を公募したところ予定数を上回る20校1,404名の参加があり、児童の花や緑に対する関心が向上し、育てることへの意欲が高ま

るなどの効果が見られ、大変好評でした。



小学校における花育教室  
(平成25年10月6日半田市立雁宿小学校)



小学校における花育教室  
(平成25年10月24日犬山市立池野小学校)

### (3) 「あいちフラワーカップ」の開催

家族や友人など大切な人に花を贈るときに添えたいメッセージ「花に込めたメッセージ(100字程度)」を公募し、応募総数1,209通から30通を選定し、特に優秀なメッセージのフレーズを、本県産花きを使用したフラワーアート(フラワーアレンジメントなど)のコンテストや華道家によるデモンストレーション等のテーマとして採用し、県民に花のある生活空間を提案しました。



フラワーアートのコンテスト  
(平成26年2月6日 吹上ホール)



花に込めたメッセージ優秀作品者



いけばなのデモンストレーション  
(平成25年11月4日 西尾市総合体育館)

## 3 平成26年度事業の取組について

### (1) 平成26年度の「今月のあいちの花」と事業実施

平成25年度とは異なる「今月のあいちの花」を月ごとに選定し、平成25年度と同様に事業を実施してPRを進めて行く予定です。

### (2) 新たな取組「花の王国あいちパートナーシップ事業」

花き以外のESDユネスコ世界会議、アビリンピック、名古屋ウィメンズマラソンなどの場で「あいちの花」をアレンジメントや花束などで提供し、県民の幅広い層に対し、PRを進める「花の王国あいちパートナーシップ事業」に本年度から新たに取り組む予定です。

## 愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ±2%台以内  
 や や : ±3～5%台  
 かなり : ±6～15%台  
 大 幅 : ±16%以上

### ○ 名古屋市中心卸売市場（品目：おおば）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
25年実績	22	20 (90%)	2,754	2,789	高地 (5%) 大分 (3%) 茨城 (2%)
26年見通し	20	—	2,700	—	
<b>入荷量及び卸売価格の概要と見通し</b>			<b>卸売市場から産地への要望・提言等</b>		
<p>ほぼ愛知産で、主な産地は東三河地域。天候は良好で、生育も順調な見込み。愛知産の物量が増加した。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>			<p>おおばは収穫してから出荷までの作業に3日ほど要するなど、手間がかかり、また体力もいるため、洋菜等に切り替える生産者もいる。 夏はサラダ等への需要が増加することを期待するが、若者も好む調理法を宣伝し、生産が追いつかなくなるぐらいの需要増を目指した工夫が求められる。</p>		

### ○ 東京都中央卸売市場（品目：ハウスみかん）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
25年実績	539	67 (12%)	975	1,125	佐賀 (73%) 愛知 (12%) 大分 (8%)
26年見通し	500	—	1,100	—	
<b>概 要 と 見 通 し</b>			<b>卸売市場から産地への要望・提言等</b>		
<p>佐賀を中心に愛知、大分から9割の入荷を占める。引き続きハウスみかんの加温面積は減少傾向。 ぶどう等他のハウス物が雪による施設被害で少ない中、食味に優れるハウスみかんの引き合いは強い。 佐賀は生産減と加温開始の後退で出荷ピークは6月上旬となる。大分は7～8月盆前がピークとなる。 本県も生産量が減る中、6月中旬から8月に向けてピークとなる。6月はM・S中心。 数量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>			<p>ハウスみかんは5月から7月にかけてのギフト商材としての引き合いが強い。特に本年作は他のハウス物の果実が2月の降雪の影響で減少、単価高となっており、その傾向が強まっている。 中でも愛知産は、他産地よりも良食味で、品質も安定しており、果物専門店や量販店などからの信頼が高い。反面評価も厳しいので、出荷にあたってはこれまで以上に浮皮や着色などに注意して選果して欲しい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の6月の見通し

名古屋市中央卸売市場

5月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	21年	35,947	205	209	210	194	愛知 25%
	22年	33,692	225	243	223	206	長野 17%
	23年	32,261	228	229	222	223	茨城 7%
	24年	32,796	209	213	196	205	長崎 6%
	25年	30,328	208	198	219	203	
	5ヵ年平均	33,005	215	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	30,900	207	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、長野からの入荷が中心となる。関東者は、未だ残雪の影響もあるが、全体的には気温も落ち着き、全体的に生育状況は良好。 入荷量、価格ともに前年並みの見込み。							
だいこん	21年	1,867	92	86	91	99	青森 56%
	22年	1,956	83	103	82	68	愛知 29%
	23年	1,830	86	77	81	107	北海道 10%
	24年	1,744	88	89	83	94	岐阜 2%
	25年	1,614	82	77	77	99	
	5ヵ年平均	1,802	86	87	83	93	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,600	85	85	85	85	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は青森、愛知が中心。愛知は上旬の雨の影響がある可能性。青森、北海道は雪などの影響で成育は遅れていたが、持ちなおしている。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。							
にんじん	21年	1,635	135	115	150	143	岐阜 57%
	22年	1,516	157	146	159	174	愛知 10%
	23年	1,614	136	125	141	150	長崎 7%
	24年	1,200	165	150	163	191	徳島 6%
	25年	1,150	141	131	143	155	
	5ヵ年平均	1,423	146	132	151	161	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,200	137	110	140	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は岐阜が中心。どの産地も生育は順調。徳島の残量は少なく、6月中旬ぐらいで修了する見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

5月23日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)
			上旬	中旬	下旬	
野菜計	21年	134,861	224	229	221	千葉 17%
	22年	130,336	232	225	214	茨城 14%
	23年	126,782	233	229	237	長野 9%
	24年	132,882	215	210	227	群馬 7%
	25年	127,634	220	220	232	(愛知産比率 3%)
	5ヵ年平均	130,499	225	-	-	前年及び本年の
	26年見通し	130,000	225	-	-	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
<p>洋菜類は関東と長野、果菜類と土物類は西南暖地からの入荷が中心となる。5月は好天に恵まれ、適度な降雨もあり、各産地の生育は順調である。</p> <p>入荷量は平年をわずかに上回り、価格は5月の荷動きが堅調なことから前年並の見込み。</p>						
だいこん	21年	7,737	89	89	97	青森 56%
	22年	8,676	78	75	63	千葉 24%
	23年	8,455	84	78	100	北海道 8%
	24年	8,306	82	74	89	栃木 4%
	25年	7,634	84	77	99	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	8,162	83	78	90	前年及び本年の
	26年見通し	7,700	80	81	79	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
<p>青森と千葉からの入荷が中心となる。青森は5月中旬からハウス物の出荷が始まり、平年並の入荷が見込まれる。千葉はピークを過ぎたが、生育の遅れから前年を大幅に上回る見込み。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み</p>						
にんじん	21年	6,396	129	132	125	千葉 77%
	22年	6,312	153	145	149	埼玉 10%
	23年	7,044	117	114	108	茨城 6%
	24年	6,381	148	147	150	栃木 1%
	25年	6,453	138	143	136	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	6,517	137	148	134	前年及び本年の
	26年見通し	6,400	140	135	140	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
<p>千葉からの入荷が中心となる。千葉は2月の降雪の影響から、一部地域では種が遅れたり生育の不揃いがみられたが、生育状況は順調である。埼玉は降雪の影響で生育の遅れがみられる。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>						

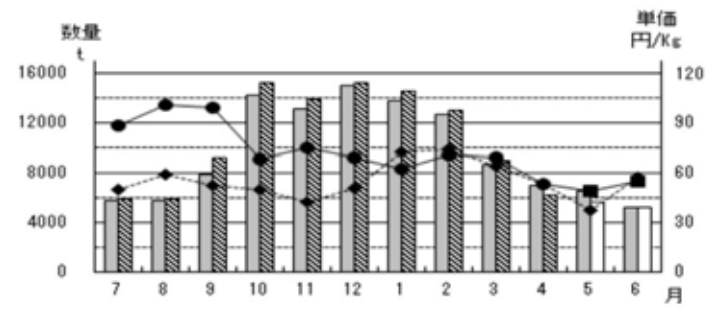
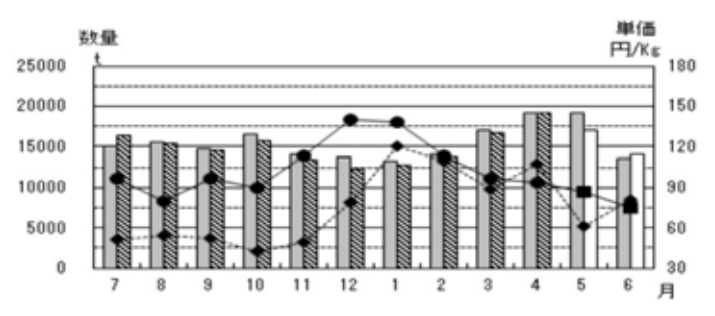
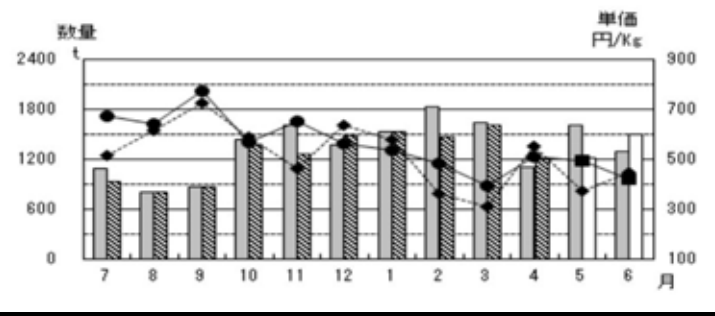
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	21年	2,142	74	83	71	68	長野 82% 茨城 13% 群馬 5%
	22年	2,159	74	88	79	57	
	23年	1,679	71	81	68	70	
	24年	1,712	58	64	47	73	
	25年	1,597	62	55	77	60	
	5ヵ年平均	1,858	68	75	69	65	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	1,700	60	60	60	60		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地の中心は長野。5月下旬から量が増えてくる。茨城、愛知産は今月ぐらいで終了する見込みだが、天候次第では早めに終了する。 入荷量はかなり上回り、価格は前年よりやや下回る見込み。</p>					
キャベツ	21年	4,458	72	81	65	71	愛知 50% 茨城 40% 長野 6%
	22年	3,789	87	116	87	65	
	23年	3,917	62	47	60	83	
	24年	4,612	62	70	58	62	
	25年	3,384	95	73	114	102	
	5ヵ年平均	4,032	74	77	75	75	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	3,800	70	65	70	75		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知主体で、茨城が続く。愛知の生育状況は良好で、順調な出荷が見込まれる。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年より大幅に下回る見込み。</p>					
ほうれんそう	21年	310	508	522	510	491	岐阜 75% 茨城 8% 長野 7% 愛知 5%
	22年	277	513	560	486	497	
	23年	235	573	530	610	580	
	24年	287	499	473	466	544	
	25年	221	555	463	577	677	
	5ヵ年平均	266	526	511	524	550	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	250	520	480	550	550		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知はほぼ終了し、岐阜が中心となる。5月下旬から6月上旬に出荷のピークを迎え、売込みが活発な状況。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうろくさい	21年	6,378	58	62	57	55	長野 53%
	22年	5,368	56	65	59	45	茨城 32%
	23年	5,856	55	47	57	60	群馬 14%
	24年	5,583	50	47	42	60	
	25年	5,197	57	38	73	59	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	5,676	55	52	57	56	前年及び本年の
	26年見通し	5,200	55	60	55	50	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			 <p>数量 t / 単価 円/kg</p>				
茨城からの入荷が終盤を迎え、長野、群馬の高冷地ものが増加する。長野、群馬ともに降雪の影響が懸念されたが、定植作業は例年通り行われ、生育状況は良好である。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。							
キャベツ	21年	17,218	63	63	60	65	千葉 46%
	22年	15,975	75	103	69	55	茨城 24%
	23年	14,641	52	38	44	81	神奈川 8%
	24年	16,975	55	57	50	58	愛知 8%
	25年	13,580	81	69	88	87	(愛知産比率 8%)
	5ヵ年平均	15,678	65	64	62	69	前年及び本年の
	26年見通し	14,000	75	65	70	78	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			 <p>数量 t / 単価 円/kg</p>				
関東からの入荷が中心となる。千葉、茨城は少雨のため生育が遅れ気味だが、収量への影響は少ない。神奈川は生育遅れから収穫が後半にズレて出荷量は前年並の見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年よりかなり下回る見込み。							
ほうろくそう	21年	1,680	403	394	401	416	茨城 27%
	22年	1,673	405	441	380	394	群馬 24%
	23年	1,365	431	430	435	429	栃木 14%
	24年	1,453	391	366	362	447	岩手 13%
	25年	1,286	443	400	408	561	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	1,491	413	407	396	418	前年及び本年の
	26年見通し	1,500	420	440	420	400	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			 <p>数量 t / 単価 円/kg</p>				
関東に加え岩手からの入荷が中心となる。主要産地は干ばつ気味のため、今後の降雨次第だが生育は順調。茨城は岩手は降雪の影響でハウス被害が多くあり出荷量は大幅に減少する見込み。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高かった前年をやや下回る見込み							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
ねぎ	21年	901	403	450	389	373	愛知 26%	
	22年	829	426	479	426	377	大分 16%	
	23年	726	373	429	365	354	鳥取 10%	
	24年	767	397	389	389	424	茨城 9%	
	25年	704	424	408	421	464		
	5カ年平均	785	405	433	398	397		
	26年見通し	700	400	400	400	400	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t			単価 円/kg
		産地の中心は愛知。夏ねぎに移行していく。6月上旬は入荷量が少ないと思われる。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。						月
しゅうたす	21年	1,824	126	145	131	106	長野 99%	
	22年	1,729	128	225	116	81	愛知 1%	
	23年	1,708	141	128	134	192	茨城 0%	
	24年	1,877	134	134	133	151	三重 0%	
	25年	2,070	108	139	105	106		
	5カ年平均	1,842	127	153	123	126		
	26年見通し	1,900	120	150	110	100	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t			単価 円/kg
		6月は長野中心となる。長野は、気温の上昇、適度な雨により、松本付近からの順調な入荷が見込まれる。中旬以降は、高地物も出始める。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年かなり上回る見込み。						月
きゅう	21年	1,876	202	211	212	175	愛知 32%	
	22年	1,836	229	258	181	242	長野 21%	
	23年	1,647	307	355	255	327	埼玉 20%	
	24年	1,656	204	168	186	275	群馬 10%	
	25年	1,461	268	274	253	291		
	5カ年平均	1,695	240	252	216	259		
	26年見通し	1,200	285	280	290	290	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t			単価 円/kg
		産地は愛知、長野。関東からは埼玉、群馬が中心となる。愛知産は6月下旬に入ると成り疲れが心配される。また関東物は残雪の影響がある。 入荷量は前年より大幅に下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。						月



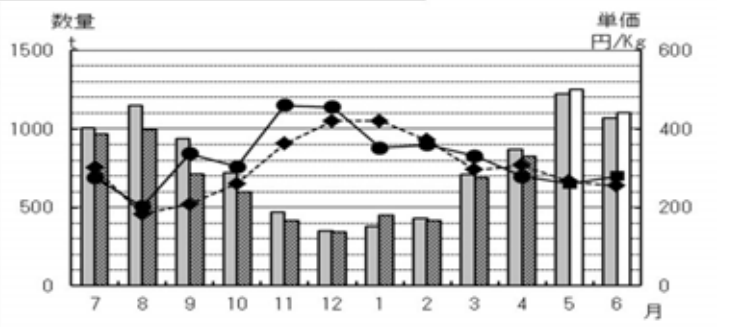
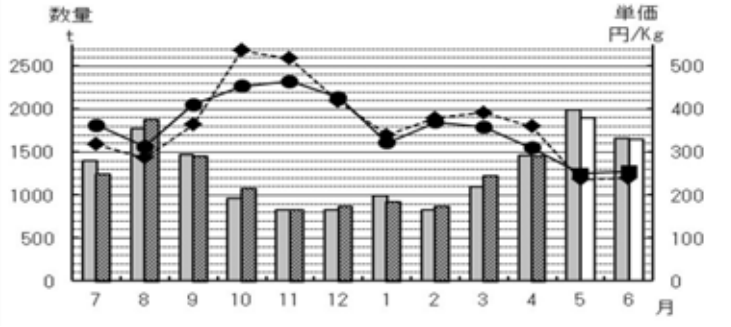
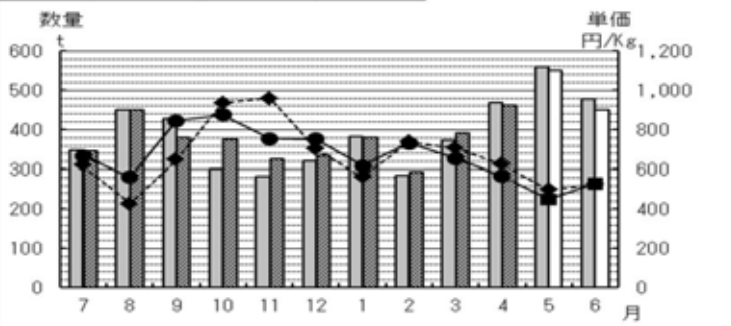
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	21年	4,270	359	383	327	370	茨城 64%
	22年	4,210	333	383	317	297	千葉 21%
	23年	4,625	270	320	247	241	中国 6%
	24年	4,314	287	286	283	290	埼玉 4%
	25年	3,885	378	325	370	406	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	4,261	323	362	303	321	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	4,100	340	320	340	360		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、千葉からの入荷が中心となる。茨城の生育は順調で太りもよく中旬から出荷ピークを迎える。千葉は出荷の前進傾向がみられるため、やや細めだが天候次第で回復を見込む。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み</p>					
しそ	21年	8,159	118	130	120	104	長野 75%
	22年	8,096	121	199	108	78	群馬 19%
	23年	7,671	133	162	126	116	岩手 3%
	24年	7,959	134	124	124	151	茨城 2%
	25年	8,673	112	127	105	106	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	8,112	123	160	129	111	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	8,700	110	120	105	105		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野からの入荷が本格化する。長野は干ばつ気味で生育遅れがあったが、5月下旬の降雨で回復傾向である。出荷量は中旬からピークに入る。群馬は生育順調で出荷量は前年並。 入荷量は潤沢だった前年並で、価格は前年よりわずかに下回る見込み</p>					
きゅうり	21年	7,485	210	222	224	182	埼玉 28%
	22年	7,774	222	272	168	221	群馬 19%
	23年	6,967	292	352	234	302	福島 14%
	24年	7,465	192	153	172	256	千葉 9%
	25年	6,853	270	278	246	296	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	7,309	236	249	204	251	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	5,500	300	290	280	320		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>埼玉、群馬、福島、千葉からの入荷が中心となる。埼玉と群馬、福島は降雪の影響を受け、出荷量は前年をかなり下回る見込み。埼玉、群馬は中旬まで、福島は中下旬から出荷ピークを迎える。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

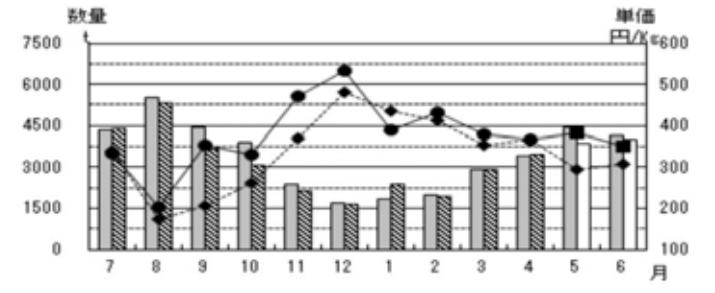
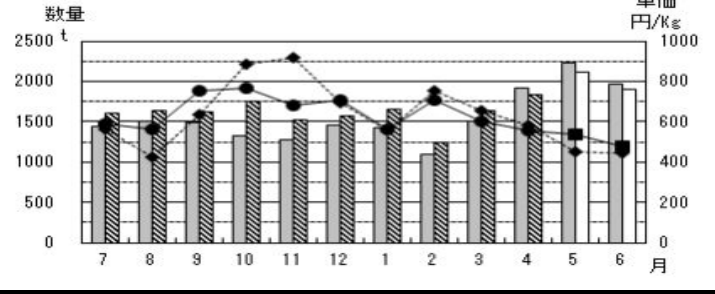
単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	21年	1,358	269	280	298	224	愛知 47%
	22年	1,233	302	277	309	325	熊本 22%
	23年	1,013	388	376	390	413	宮崎 18%
	24年	1,100	318	298	334	329	高知 6%
	25年	1,067	254	251	263	257	
	5ヵ年平均	1,154	304	294	317	305	
	26年見通し	1,100	280	260	280	300	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知、熊本中心。5月の成り疲れの影響で、上旬は減少傾向だが、徐々に持ち直す見込み。 入荷量は前年よりやや上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							
ト マ ト	21年	1,857	232	245	227	225	愛知 35%
	22年	1,649	249	303	232	219	熊本 25%
	23年	1,472	276	277	265	312	三重 17%
	24年	1,784	289	302	279	297	岐阜 10%
	25年	1,660	240	214	271	255	
	5ヵ年平均	1,684	257	268	254	260	
	26年見通し	1,650	255	220	250	300	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知、熊本中心。各産地とも病害虫の発生もなく、入荷は順調。春トマトの面積増大もあり、熊本は6月上旬まで入荷が見込まれる。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。							
ミ ニ ト マ ト	21年	423	477	503	475	451	熊本 42%
	22年	383	510	541	496	493	愛知 37%
	23年	375	559	525	558	619	和歌山 9%
	24年	467	545	560	479	570	
	25年	479	526	445	553	599	
	5ヵ年平均	425	523	513	512	548	
	26年見通し	450	530	500	500	600	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知、熊本を中心に、北海道からの入荷となる。北海道は天候の影響で遅れ気味である。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並みの見込み。							

東京都中央卸売市場

「なす」の数値には「べいなす」を含まない。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	21年	4,875	305	348	326	251	高知 28%
	22年	4,273	348	365	342	338	群馬 18%
	23年	3,672	436	424	419	465	福岡 15%
	24年	4,217	348	341	350	352	茨城 10%
	25年	4,157	308	296	301	333	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	4,239	352	364	354	348	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	4,000	350	330	350	370	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知、群馬、福岡、茨城からの入荷が中心となる。高知、福岡は生育終盤になったが生育順調である。群馬は降雪の影響を受け、出荷量は前年を大幅に下回る見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>					
							
マ マ	21年	8,688	262	282	255	251	栃木 24%
	22年	9,081	266	349	253	218	茨城 14%
	23年	8,214	290	296	268	310	千葉 13%
	24年	9,401	308	320	292	309	愛知 11%
	25年	9,286	249	226	263	262	(愛知産比率 11%)
	5ヵ年平均	8,934	275	297	264	270	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	9,100	260	250	250	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東と本県からの入荷が中心となる。栃木、千葉は小玉傾向(M、S玉)だが生育は順調で品質良好である。茨城は中下旬に、本県は上旬に出荷ピークを迎える。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
							
ミ ニ ト マ ト	21年	1,321	450	452	449	449	熊本 25%
	22年	1,402	471	538	446	433	愛知 22%
	23年	1,328	520	473	510	597	茨城 13%
	24年	1,741	511	523	468	538	千葉 12%
	25年	1,966	447	396	476	476	(愛知産比率 22%)
	5ヵ年平均	1,552	479	496	438	499	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,900	460	460	480	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、熊本が中心に、関東産地に加え東北産地からの入荷となる。各産地とも現況は順調な生育で現況、出荷のピークを迎えている。6月に入るとやや落ち着くものの潤沢な出荷が見込まれる。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					
							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬	(愛知産比率)	
ピーマン	21年	630	298	263	344	292	茨城 58%
	22年	575	318	336	364	262	宮崎 19%
	23年	553	385	468	393	374	高知 19%
	24年	618	230	264	232	272	
	25年	571	259	211	305	377	(愛知産比率 0%)
マン	5カ年平均	589	296	306	326	314	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	600	270	240	270	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
6月は茨城、宮崎、高知中心となる。宮崎は中旬で終了する見込み。全体的に6月上中旬の出荷量は順調であるが、下旬は成り疲れにより減少する見込み。 入荷量、価格ともに前年をやや上回る見込み。							
ばれいしょ	21年	2,702	160	153	167	163	長崎 70%
	22年	3,294	184	174	197	186	静岡 18%
	23年	2,959	183	213	173	145	熊本 6%
	24年	3,035	75	82	76	70	
	25年	2,823	95	94	98	95	
いしょ	5カ年平均	2,963	140	144	143	133	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	2,900	100	110	100	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
鹿児島は5月でほぼ終了し、6月は長崎、静岡中心となる。長崎のL玉は80%以上で、大玉傾向。静岡はL玉中心、で生育も順調。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年よりやや上回る見込み。							
たまねぎ	21年	4,821	75	78	77	67	愛知 72%
	22年	3,973	86	95	81	81	兵庫 16%
	23年	3,886	63	63	64	64	北海道 7%
	24年	3,107	110	104	106	126	佐賀 4%
	25年	3,259	74	73	84	67	
ねぎ	5カ年平均	3,809	80	82	81	79	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	3,400	90	90	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地の中心は愛知、兵庫。両県とも生育は順調であり、L玉以上の大玉が多い。入荷も順調な見込み。 入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピ	21年	2,366	307	331	330	253	茨城 2%
	22年	2,342	333	427	362	239	高知 0%
	23年	2,116	378	480	307	367	宮崎 0%
	24年	2,531	209	221	194	210	岩手 0%
	25年	2,344	279	187	303	366	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	2,340	301	329	299	287	前年及び本年の
26年見通し	2,300	255	220	270	260	入荷量・価格の動き	
マ ン	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	茨城を中心に高知、宮崎などから入荷する。茨城は順調な生育で促成、半促成ともに6月がピークとなる。他に岩手から入荷するが、スタートがやや遅れている。入荷量は前年並み、価格は前年をかなり下回る見込み。						
ば れ	21年	7,877	160	161	161	158	長崎 56%
	22年	8,517	198	211	194	186	静岡 19%
	23年	8,306	178	205	172	146	熊本 8%
	24年	9,934	85	90	82	84	千葉 7%
	25年	8,633	103	100	103	106	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	8,653	145	153	142	136	前年及び本年の
26年見通し	9,200	115	130	110	100	入荷量・価格の動き	
い し よ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	長崎を中心に静岡、熊本などから入荷する。長崎は一部で生育がやや遅れ5月末までに5割弱の出荷で7月中旬までの出荷。静岡も一部で霜害があったが、その後の好天により生育は順調。入荷量は前年をかなり上回り、価格も引き合いがあってかなり上回る見込み。						
た ま	21年	10,942	95	92	92	103	佐賀 24%
	22年	10,878	98	96	96	102	香川 19%
	23年	11,472	70	63	71	77	兵庫 14%
	24年	9,499	118	108	113	136	千葉 12%
	25年	12,004	83	79	89	83	(愛知産比率 7%)
	5ヵ年平均	10,959	93	88	92	100	前年及び本年の
26年見通し	9,900	115	120	110	110	入荷量・価格の動き	
ね ぎ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	佐賀を中心に、香川、兵庫などから入荷する。佐賀は、前年の豊作による安値の影響で作付けが減少している。生育そのものは良好である。香川は育苗期の悪天候の影響でやや生育が遅れているがその後の肥大は順調。入荷量は豊作の前年を大幅に下回り、価格も入荷量減のため前年を大幅に上回る見込み。						

名古屋市中央卸売市場

「その他メロン」は「アールスメロン」以外のメロンをいう。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	21年	11,280	316	306	308	335	フィリピン 25%
	22年	9,487	344	327	360	347	愛知 19%
	23年	9,486	334	323	339	361	熊本 16%
	24年	9,381	337	347	353	349	アメリカ(合) 7%
	25年	8,640	354	355	358	350	
	5ヵ年平均	9,655	336	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	8,700	320	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知・熊本中心。重油高の影響で、加温タイプのは厳しい傾向。ぶどうは主要産地である山梨の雪害の影響があり、入荷量の減少が懸念される。他の果実においても、関東物を中心として若干生育の遅れが懸念される。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
その他メロン	21年	1,558	237	253	255	266	熊本 28%
	22年	1,169	315	380	345	269	愛知 25%
	23年	1,059	281	291	280	299	茨城 21%
	24年	1,165	287	307	286	282	メキシコ 20%
	25年	1,074	288	302	299	320	
	5ヵ年平均	1,205	279	304	291	285	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,000	280	280	280	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は熊本、茨城、愛知が中心。全体的に作柄は良好であるが、作付面積の減少により入荷量は減少する見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
すいか	21年	2,370	156	180	156	136	愛知 64%
	22年	1,705	195	216	215	191	熊本 20%
	23年	1,947	172	193	182	176	鳥取 8%
	24年	2,121	180	206	198	172	石川 6%
	25年	1,823	190	207	210	195	
	5ヵ年平均	1,993	177	199	190	172	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,900	170	180	170	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、熊本が中心。生育は良好で、出荷は前倒し傾向。今後、石川の出荷が始まると入荷量が全体的に増加する 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実	21年	37,774	341	318	346	357	茨城 17%
	22年	31,851	373	362	383	375	千葉 13%
	23年	31,506	354	320	358	380	青森 12%
	24年	30,172	376	354	379	389	フィリピン 12%
	25年	29,672	378	357	379	399	(愛知産比率 1%)
	5カ年平均	32,195	364	-	-	-	前年及び本年の
	26年見通し	30,000	370	-	-	-	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
すいか類、メロン類中心におとう、ぶどう、もも、ハウスみかん等が入荷する。ももは中旬まではハウスものだが、2月の降雪による施設倒壊で山梨からの入荷は前年を下回る。ぶどうは島根や大阪などのデラウェア中心の出回りで山梨の施設ものは大幅減になる。入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。							
その他	21年	6,804	274	281	274	265	茨城 77%
	22年	4,768	371	442	389	311	千葉 12%
	23年	4,862	336	350	329	326	熊本 8%
	24年	5,038	327	338	344	306	神奈川 1%
	25年	4,132	365	406	364	334	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	5,121	335	363	340	308	前年及び本年の
	26年見通し	4,300	350	370	370	330	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
茨城中心の入荷。全体の作付けが減少する中、好天が続く作柄、品質ともに良好である。5月中旬からクインシー、5月上旬からアンデスの入荷が増加し、ともに中旬に向けピークとなる。貴味メロンは露地ものが中旬から始まり下旬がピーク。数量は、前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。							
すいか	21年	10,217	162	147	166	178	千葉 38%
	22年	8,926	221	237	228	207	熊本 25%
	23年	8,778	183	184	184	182	茨城 21%
	24年	9,042	187	212	193	168	鳥取 7%
	25年	8,661	207	215	212	196	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	9,125	192	199	197	186	前年及び本年の
	26年見通し	8,700	200	220	200	190	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
千葉を中心に熊本、鳥取、茨城から入荷。大玉は交配期を含め好天で良好な仕上がりで入荷は多いが、引き合いも強い。千葉は上旬までハウス物、その後、露地物となる。ピークは中旬から下旬。鳥取は中旬から出始める。熊本は中旬までの出荷。数量は前年並みで、入荷量は前年をやや下回る。							

# 切花・鉢花の6月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 5月24日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ く	実績	21年	2,416	43	
		22年	1,896	59	
		23年	1,956	45	
		24年	2,269	31	
		25年	1,575	48	
	5ヶ年平均		2,022	44	
	26年見通し		1,600	45	
概要	<p>愛知、三重中心に入荷。2月の雪害、低温により長野産に遅れが出ているが、末には赤菊から出荷も始まる。前半はやや少なめに推移し、中旬以降夏菊も出揃う。相場は業務需要次第となるが、品種の切り替え時期でもあり、やや重めの展開か。</p>				
小 ぎ く	実績	21年	1,353	32	
		22年	912	36	
		23年	1,152	32	
		24年	1,387	22	
		25年	1,172	33	
	5ヶ年平均		1,195	30	
	26年見通し		1,170	30	
概要	<p>沖縄産の出荷も終わり、愛知、奈良産中心に切り替わる。3、4月の寒さの影響から始めはやや短めの物が多かったが、生育は順調で順次ボリュームは乗ってくる。</p>				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	21年	1,070	41	
		22年	1,047	38	
		23年	1,198	37	
		24年	1,109	32	
		25年	789	53	
	5ヶ年平均		1,043	40	
	26年見通し		780	50	
概要	<p>長野を中心に岐阜、愛知などから入荷。今年は母の日直前が急に寒くなり、特にスプレーは後ろにずれた暖地物がまだまだ残っているが、品質的に長野産の引き合いが強い。後半は出荷量が増え、厳しくなる。</p>				
か す み そ う	実績	21年	139	78	
		22年	134	67	
		23年	126	75	
		24年	136	63	
		25年	133	79	
	5ヶ年平均		134	73	
	26年見通し		135	75	
概要	<p>長野、北海道等高冷地産が増えてくる。暖地産は中旬辺りまで出荷がありそう。業務中心に動き、数量は少ないが価格は高くなさそう。</p>				



単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	21年	427	139	
		22年	337	154	
		23年	410	140	
		24年	410	127	
		25年	397	119	
	5ヶ年平均		396	135	
	26年見通し		400	120	
概要	前半は数量も多そうで販売に苦労しそう。産地間で価格差がでるが、中旬以降は入荷も減り、相場安定。LA, 鉄砲は少なめの入荷。昨年より気温が高く、集中出荷される展開も考えられ、中旬までは相場の変動が激しい。				
洋 ら ん	実績	21年	287	92	
		22年	321	81	
		23年	374	81	
		24年	364	79	
		25年	357	86	
	5ヶ年平均		341	84	
	26年見通し		350	85	
概要	鹿児島、愛知、静岡、輸入物が入荷。国内産のシンピジウムは出荷が減り、輸入物に切り替わる。さらに梅雨時期に入るため、入荷量が不安定になることが予想される。				
ば ら	実績	21年	1,107	50	
		22年	1,045	48	
		23年	954	53	
		24年	923	54	
		25年	945	50	
	5ヶ年平均		995	51	
	26年見通し		950	50	
概要	愛知、三重、岐阜、和歌山、長野から入荷。産地により冷房が入ったり、株休めのための剪定、改植に入る時期で入荷量は落ち着く。中旬には父の日需要が見込め、各週末の日柄も悪くないので、ブライダル等の動きもいいと思われる。				
枝 も の	実績	21年	1,242	43	
		22年	1,458	36	
		23年	1,479	40	
		24年	1,534	39	
		25年	1,337	44	
	5ヶ年平均		1,410	40	
	26年見通し		1,400	42	
概要	岐阜、長野を中心として入荷。新芽も落ち着き、樅、榊の出荷量も増え、単価は落ち着く。気温も高くなり、天候次第で入荷量は増減するが品数も増え、相場は軟調ぞみ。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ア ン ス リ ウ ム	実 績	21年	25,243	997	
		22年	15,570	967	
		23年	19,878	982	
		24年	22,302	1,034	
		25年	21,385	922	
	5ヶ年平均		20,876	982	
	26年見通し		21,000	905	
概要	<p>入荷量は昨年並み、もしくは減少か。メインは4、6、7、10号。品種はピンクチャンピオン、ダコタ、シエラホワイト、ジョリが中心となる。</p> <p>昨年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知県(98.0%)、2位三重県(1.1%)、3位静岡県(0.5%)となっている。</p>				
フ ア レ ノ プ シ	実 績	21年	28,794	2,706	
		22年	23,846	2,654	
		23年	25,948	2,942	
		24年	21,785	3,037	
		25年	22,204	3,121	
	5ヶ年平均		24,515	2,886	
	26年見通し		21,000	3,095	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。昨年同様、母の日シーズン後のため、ミディー系は少ない。出荷は3F寄せなどの方が売れる予想。又、気温も上がってくるので開花具合や花シミなどには注意が必要である。</p> <p>昨年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知県(46.1%)、2位三重県(41.6%)、3位岐阜県(11.0%)となっている。</p>				
バ ラ 及 び ミ ニ バ ラ	実 績	21年	38,145	202	
		22年	26,970	184	
		23年	28,771	155	
		24年	22,542	225	
		25年	29,421	210	
	5ヶ年平均		29,170	195	
	26年見通し		29,000	207	
概要	<p>入荷量は平年並みか。気温の上昇と共に花持ちも悪くなるため、販売に苦戦しそう。安値安定か。</p> <p>昨年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位岐阜県(62.3%)、2位愛知県(25.1%)、3位愛媛県(10.2%)となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ハイドロジェン	実績	21年	45,729	392	
		22年	34,524	545	
		23年	34,524	545	
		24年	47,455	405	
		25年	51,218	514	
	5ヶ年平均		43,448	459	
	26年見通し		51,000	510	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。昨年と同様に、青玉、白玉の入荷が多い。夏色、秋色のアジサイも入荷の見込み。昨年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知県(76.5%)、2位群馬県(10.6%)、3位埼玉県(2.7%)となっている。</p>				
スパティ	実績	21年	23,194	266	
		22年	23,770	235	
		23年	17,880	299	
		24年	17,869	306	
		25年	20,927	281	
	5ヶ年平均		20,726	275	
	26年見通し		21,000	276	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。4号以上は、5F以上の花付けが求められている。いかに花付け良く出荷できるかが鍵である。昨年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知県(46.1%)、2位三重県(41.6%)、3位岐阜県(11.0%)となっている。</p>				
ドラセナ	実績	21年	58,131	562	
		22年	31,960	648	
		23年	40,127	649	
		24年	42,796	702	
		25年	42,349	735	
	5ヶ年平均		43,075	653	
	26年見通し		42,000	714	
概要	<p>入荷量は減少か。昨年同様、愛知県を中心とした生産量減の影響。また、大鉢の出荷は減少し、中鉢(8号・7号)を中心に入荷が多いと思われる。品種はユッカ、マッサン、コンシが中心と予想。昨年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知県(73.3%)、2位沖縄県(13.4%)、3位岐阜県(3.0%)となっている。</p>				

# 主要農林水産物の輸出入実績(2013年)

## 1 輸入実績

品名	3月						3月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	89,417	108.4	9,292,749	100.8	104	93.0	259,078	123	27,381,009	109	106	89
トマト	509	96.7	203,476	97.5	400	100.8	1,470	100	597,884	102	407	102
たまねぎ	32,887	151.9	1,865,123	114.2	57	75.2	97,720	164	5,604,408	129	57	79
にんにく	1,412	106.5	232,552	81.1	165	76.1	4,260	104	693,854	82	163	79
ねぎ	5,234	133.3	560,032	127.7	107	95.8	14,516	113	1,688,705	121	116	107
ブロッコリー	2,401	119.4	423,028	115.2	176	96.4	7,564	93	1,416,359	98	187	105
結球キャベツ	5,047	139.7	206,762	152.8	41	109.4	18,169	170	782,882	185	43	109
にんじん・かぶ	8,547	104.4	486,671	100.5	57	96.2	19,974	109	1,207,267	118	60	108
ごぼう	3,983	137.4	380,562	269.9	96	196.5	11,179	114	1,073,617	228	96	201
えんどう	97	44.6	35,316	50.9	364	114.2	209	29	78,795	31	377	109
アスパラガス	2,322	114.7	1,063,078	114.7	458	100.0	5,597	122	2,934,082	118	524	97
まつたけ	-	-	-	-	-	-	-	0	-	0	-	-
しいたけ	275	96.6	103,364	110.8	376	114.7	1,103	70	415,640	82	377	116
かぼちゃ	15,123	65.2	1,099,752	68.0	73	104.3	47,029	97	3,614,521	102	77	105
果実(生鮮・乾燥)	134,406	89.9	20,233,200	105.9	151	117.8	365,427	91	57,049,900	111	156	122
バナナ	73,667	98.2	6,189,916	105.1	84	107.1	208,217	95	17,024,401	107	82	112
パイナップル	12,875	94.6	920,737	122.6	72	129.6	31,963	86	2,227,874	111	70	128
レモン	2,504	82.4	481,705	126.5	192	153.5	10,848	105	2,190,788	171	202	163
オレンジ	7,969	55.5	1,278,731	83.7	160	150.8	19,981	66	3,158,814	96	158	145
グレープフルーツ	12,834	88.3	1,638,116	96.5	128	109.3	31,482	88	4,067,218	100	129	112
メロン	3,859	96.6	396,173	93.7	103	97.0	7,829	86	852,612	89	109	103
ぶどう	2,225	74.3	494,589	72.7	222	97.7	4,355	90	1,048,247	93	241	104
キウイ	64	52.0	20,353	62.4	318	120.0	127	21	40,505	27	319	131
いちご	1	8.4	525	5.0	525	59.3	8	27	10,071	36	1,216	131
切花(生鮮・乾燥)	5,653	93.7	4,555,210	101.8	806	108.6	11,195	90	9,504,385	98	849	110
鳥獣肉類	135,336	98.3	67,768,569	104.4	501	106.2	421,941	103	205,515,185	110	487	106
牛肉(くず肉含む)	36,926	91.2	20,232	0.1	1	0.1	104,301	99	35,628,030	69	342	70
豚肉(くず肉含む)	61,992	104.1	32,961,326	105.1	532	101.0	195,479	109	103,735,062	110	531	101
鶏肉	27,654	89.4	7,694,911	92.6	278	103.5	98,291	95	27,179,703	101	277	106
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	112,147	94.8	78,123,584	106.9	697	112.8	359,265	92	245,308,265	113	683	123
まぐろ類	18,474	90.5	19,586,951	96.5	1,060	106.6	52,166	97	52,309,013	113	1,003	117
さば・さんま・あじ・いわし	4,644	111.7	1,051,385	134.5	226	120.4	25,920	104	5,773,142	133	223	128

## 2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	1,786	160.2	666,178	168.5	373	105.2	7,745	104	3,218,616	119	416	114
うんしゅうみかん	34	151.7	19,362	168.5	569	111.1	242	176	135,277	199	559	113
りんご	1,698	160.2	566,417	171.5	334	107.0	7,238	103	2,709,701	115	374	112
なし	-	0.0	-	0.0	-	-	8	2	4,365	48	529	267
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	223,521	114.0	-	-	-	-	684,318	111	-	-
緑茶	216	90.2	490,390	87.3	2,270	96.7	743	127	1,685,915	122	2,270	96

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

# 関 連 指 数

年 月		消費者物価指数 <small>（全国 平成22年 = 100）</small> <small>愛知県 平成22年 = 100</small>				
		総 合	生 鮮 野 菜	生 鮮 果 物	肉 類	魚 介 類
全 国	24年平均	99.7	96.1	103.3	99.0	101.4
	25年11月	100.8	103.9	96.7	100.7	104.9
	12月	100.9	105.4	104.9	101.3	106.7
	26年 1月	100.7	105.8	114.2	102.1	107.0
	2月	100.7	100.5	113.1	102.0	108.1
	3月	101.0	98.5	110.6	103.0	108.5
愛 知 県	24年平均	99.7	98.0	105.3	99.1	102.1
	25年11月	100.6	106.8	96.0	100.9	105.6
	12月	100.8	109.8	109.3	99.9	106.0
	26年 1月	100.4	108.4	120.9	101.2	106.9
	2月	100.5	103.7	116.6	100.8	108.5
	3月	100.8	100.3	114.9	102.9	108.2

年 月		農業物価指数（平成22年 = 100）				
		農産物 総 合	米	野 菜	果 実	畜産物
24年平均	24年平均	101.8	111.1	99.0	102.8	100.9
	25年11月	107.2	102.0	115.7	97.8	113.7
	12月	109.5	102.5	118.9	109.3	116.5
	26年 1月	109.0	102.7	118.4	114.7	111.1
	2月	107.9	102.5	112.7	101.8	111.4
	3月	106.4	102.2	105.7	111.5	112.8

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」  
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格（円）														
年 月	品目 単位	うるち 米 <small>（単一品種、 「コシカ」 以外）</small>	キ ャ ベ ツ	は く さ い	ね ぎ	レ タ ス	ば れ い し ょ	だ い こ ん	に ん じ ん	た ま ね ぎ	き ゆ う り	ト マ ト	生 し い た け	りんご（ふじ）
		5 kg	1 kg										100g	1kg
24年平均		2,112	147	178	629	457	297	160	350	229	558	665	165	564
25年11月		2,131	175	184	581	597	314	196	384	248	798	779	158	478
12月		2,107	217	194	705	655	303	175	413	267	661	765	190	503
26年 1月		1,999	226	187	630	702	306	158	418	297	630	671	171	517
2月		2,016	207	167	627	545	306	156	391	305	588	624	172	485
3月		1,998	201	191	643	598	308	175	404	311	600	625	172	501
年 月	品目 単位	み か ん	グ レ イ プ フ ル ー ツ	オ レ ン ジ	い ち ご	バ ナ ナ	キ ウ イ フ ル ー ツ	緑 茶（せん茶）	カ ー ネ ー シ ョ ン	き く	パ ラ	豚 肉（ロース）	牛 肉（ロース）	ま ぐ ろ
		1 kg	100g	1 kg	100g	1 本	100g	1 本	100g					
24年平均		582	283	352	177	211	805	534	153	168	306	225	797	398
25年11月		488	272	352		214	751	522	159	183	332	227	851	393
12月		523	382	381	209	221	790	528	162	186	350	224	708	335
26年 1月		598	382	409	197	226	812	533	156	167	322	228	838	402
2月		601	356	437	117	232	770	533	157	161	326	227	795	399
3月		599	362	429	145	228	785	531	161	177	351	228	812	403

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



## いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 492  
平成26年6月発行  
農林水産部食育推進課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6421